

I S S N 0289—9302

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN

KΟΣΜΟΣ

コスモス No. 86 1989 夏

特集

卒論・レポート ゲロゲロ
—書ける 書ける どんどん書ける—



東洋大学漫画研究会 大泉英明君 画

古文書から

奈良絵本『つれづれ草』

—寛文延宝頃写五帖について—

高城 功夫

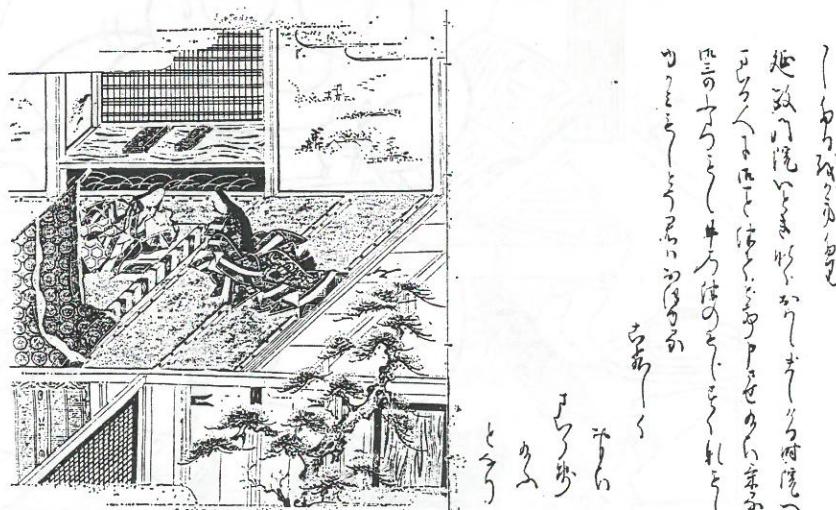
吉田兼好の著わした隨筆『徒然草』は、感興の趣くままに、さまざまな題材について綴られた作品として有名である。今日、現実的生活面の人生訓となり得る事柄が多く記されてあるのは、作者の鋭敏な感性による賜物として認めることができるし、歴史的に見てもその時代時代に多くの影響を与えてきた作品となっているからであると考えられる。徒然草の伝本は、今日夥しく存在し、流布と享受の状況を物語ってくれている。本学図書館蔵奈良絵本『つれづれ草』は、このように流布した伝本の中でも奈良絵を伴なうものとして、大変稀覯性の高いものである。隨筆作品にまで奈良絵の存在する点を、確認できるものとしての価値の高いものである。

本学図書館蔵奈良絵本『つれづれ草』(K914. 45 : YK : 15) は、列帖装五帖で、縦23.4厘、横16.9厘。表紙は黄土色地緞子仕立てで、絹金糸で篠草模様

を織り出したもの。表紙見返しは金紙である。題簽は左肩に「つれづれ草 一(~五)」と小短冊(14.2×3.1厘、金箔で雲霞模様を描く)に記す。蔵書印は各帖とも「東洋大学図書館蔵」のみである。料紙は、厚手の雁皮紙、金泥で下絵(竹・薄・草花・海浜など)を描く美麗なもの。全五帖は、第一帖二折(一折八枚・二折九枚に半分紙三枚)、第二帖三折(一折八枚・二折八枚・三折七枚)、第三帖三折(一折七枚・二折九枚・三折六枚)、第四帖三折(一折七枚・二折九枚・三折二枚)、第五帖二折(一折九枚・二折八枚)である。一面約10行書き。本文は、徒然草の伝本四系統のうち一番流布した烏丸光広本系統である。奥書等は一切ないが、書写年代は、寛文延宝(1661~1680)頃である。二重箱入で、外箱は、桐製焦茶漆塗箱で、左下側面に「画歌/つれづれ草」と記した貼付紙がある。内箱は、桐製無地で表に「つれづれ草 五さつ」と墨書きされてある。両箱とも江戸中期頃のものである。

奈良絵の画風は、細密華麗なもので、土佐風の筆致に似通う。全体的にかなり細かな描写が見られるし、構図の工夫などにも専門的なものが見られるので、専門絵師などの製作によるものであろう。上下の「すやり霞」と呼ばれる雲形は、金箔を散らした豪華なものである。

本書の内容は、第一帖、序段~44段、38段の後に第三帖の絵一図が誤って貼られていて、39段と40段の一行分が見えない。第二帖、45段~102段、第三帖、103段~150段、第四帖、151段~205



—奈良絵本『つれづれ草』62段延政門院が和歌を書いている絵—

段、第五帖、206段～243段である。絵に入る直前の本文は、散らし書きである点に工夫が凝らされている。絵は、第一帖、一図は、1段酒を飲んでいる絵。二図は、9段女の髪筋で大象を繋ぐ絵。三図は、18段許由一瓢と孫晨藁席の故事の絵。四図は、20段世捨人が月を眺めている絵。五図は、23段下級官人達の居眠りの絵。六図は、29段亡き人の手紙を取り出して見る絵。七図は、38段黄金を山に捨て、宝玉を淵に沈めようとする絵で、その次に第三帖 137段庵室で庭前の花を眺めている絵が誤って貼付されている。第二帖、一図は、48段有職の振舞での御食事の絵。二図は、54段御室の児が双が丘の紅葉の下で遊ぶ絵。三図は、62段延政門院が「ふたつ文字」の和歌を書いている絵(図版左参照)。四図は、70段衣被が琵琶の柱をはずしている絵。五図は、80段法師と武士が弓を射、琴を弾じている絵。六図は、89段猫またと連歌法師の絵。七図は、99段廬屋の唐櫃を見る絵。第三帖、一図は、104段犬に吠えられている男の絵。二図は、109段人を指図して木登りさせている絵。三図は、117段海浜に竹等のある絵で人物は描かれず。四図は、125段仏事の導師の談義をしている絵。六図は、137段で、第一帖七図の次に誤貼されていて、その分空白になっている。七図は、144段河で馬を洗う男を見る絵。第四帖、一図は、153段為兼が罪人となり輿で六波羅へ護送される絵。二図は、159段みな結びという糸の結び方を講ずる絵。三図は、171段女房たちが見おおいをして

興する絵。四図は、177段懸りで雨後おがくずを敷いて蹴鞠する絵(図版右参照)。五図は、185段泰盛が馬を観察する絵。六図は、190段女の所へ通う男の絵。七図は、200段仁寿殿の呉竹と漢竹の絵。第五帖、一図は、207段古塚より蛇を掘り起こしている絵、二図は、216段北条時頼が足利の染物を見ている絵。三図は、218段狐が仁和寺下法師に食いつく絵。四図は、224段庭に有用の食物を植えている絵。五図は、228段千本の釈迦念仏行事の絵。六図は、235段主なき家に狐やふくろうなどの住む絵。七図は、238段千本の寺の聴聞と女人の寄り添う絵。以上全五帖各帖七図ずつである。第一帖には、第三帖の絵一図誤貼があり、八図、第三帖にはそのため一図剥落があり六図となっているが、合計35図である。

徒然草の奈良絵本の伝本としては、名古屋の蓬左文庫蔵の六冊本と、「思文閣古書目録第116号」(昭62.11)に掲載された三冊本以外所伝を聞かない。そのように稀本であるので、本学図書館蔵奈良絵本『つれづれ草』は、貴重な伝本であると言える。

注：横組のため、本文上「つれづれ草」の書名は、オドリ字を復原して記した。

(文学部教授・たかぎいさお)

入まほ身内通報よ人一切往よ
ホ一
六波羅よりアモロアモロ



—同左177段懸りで雨後おがくずを敷いて蹴鞠する絵—

特集

卒論・レポート ゲロゲロ

—書ける 書ける どんどん書ける—

洋酒と卒論

一教師Tと学生Sとの夜の対話一

中井 清

T一君、顔色が冴えないね。どうかしたの。

S一例の卒論です。語学はやめて、文学でもやろうと漠然と考えているんですが、どうしたらよいのか分かりません。

T一なんだ、そんなことか。よし、それではこれから、秘訣を伝授するか。しかしその前に、このウィスキーでも一杯飲んで、元気をつけたまえ。

S一先生、おいしいですね。ウィスキーといえば、のどを刺すものとばかり思っていました。

T一今夜で君も、のどを刺さないウィスキーが存在することを知ったわけだ。

S一結局、あれこれ飲まないと駄目なんですね。

T一その通り。飲んでいる内に自然と品質が分かり、気に入った銘柄も発見できるというものだよ。卒論も実は同じでね。

S一卒論とウィスキーが同じだなんて、先生、冗談もひどすぎるな。

T一つまり、善し悪しの区別をしたり、気に入った銘柄を見つけたりするには、多くの品に当たらないと駄目だということは、君も納得できるね。好きな文学に出会うには、まずたくさん読むことが必要なんだ。乱読している内に、今夜の君がおいしい酒に出会ったように、かららず気に入った文学に出会う筈だよ。後は、なぜ気に入ったかを書けばよい。これなら君にもできるね。要するに、好きな文学を見つけたら、卒論は半分書けたも同然なんだな。まあ、今夜は大いに飲んで、明日から騙されたつもりになって、実行してみたまえ。

S一はぁ……。それにしても、先生、このウィスキーはおいしいですね。やっぱり、お訪ねしてよかったです。

(文学部教授 なかい・きよし)

論文は排泄だ！

今村 肇

いささか下品なタイトルで、まがりなりにも大学の発行する印刷物に載せるのは気がひけるのですが、これがなかなか核心をついているのです。

まず、自己の中で書きたいことが渦を巻いて充満している状態でなければ、「どんどん書ける」ようには絶対なりません。なかには、右から左へ何かの本を書き写せばいいと思っている人がいるかも知れませんが、それは未消化のまま通り抜けただけで、「あなたのもの」ではありません。

それでは、どうすれば「自分のもの」が渦を巻いて出てくるかというと、とにかくよく食べ、よく消化することです。ただし、暴飲・暴食をしたり、嫌いなものを無理やり飲み込んでもあまりいい結果にならないことは、みなさん日常経験してよくご存じですね。

本や情報を美味しく食べましょう。美味しく食べたものは、必ず健康的な色つやのよい「OUTPUT」となってくれます。どんな材料でも、ちょっとした調理法でこの世のものとは思えない味に変身するはずです。まさか、本は第1章から順にねじりはしままで読むのだと思いこんでいませんか。情報は活字でしか得られないと思いこんでいる化石のような人はいないでしょうね。さすがに、化石になってしまふともう食べられません。

そして、十分食べた後は「生理現象」として自然に「論文」が出てくるのです。鉄則は、我慢しないこと。出てきそうになったら、すぐに書いてしまうことです。そうしないと、「ボ・・・・・」とかいう薬のお世話になることになります。

「論文」というのは、「INPUT」して「OUTPUT」する、自然のリズムを保つことが重要なのです。

(経済学部助教授 いまむら・はじめ)

良い材料をうまく捜そう

井出 翁

レポートを書くということは、何でもよいからただ書けばよいということではない。

身近な例として、料理を作る時の手順を考えてみよう。先ず、どの様な料理を作るかを決めて、それに合った材料を集める。しかもなるべく良い材料を集めること。次に必要なことは、作ろうとする物についての調理法の知識と技術を身に付けていくことである。良い材料の探し方が大切である。

レポート作成も料理を作るのと同じである。どんなに調理の腕が良い人でも良い材料が無くては、良い料理は出来上がらない。

卒論やレポートの材料になる文献・資料は、身近の大学図書館に沢山ある。問題は、テーマに合った良い文献・資料を ①何を使って ②どの様に探し出すか、ということにある。

社会学部の図書館学専攻生は、これらの専門的知識・技術を学んでいるが、一般学生は図書館資料の探し方・利用法が十分に分からぬかもしれない。その時は、図書館の「参考係」に遠慮しないで気軽に尋ねるとよい。探索法や探索用資料について適切なアドバイスをしてくれる。組織的な文献探索法を学生時代には是非身に付けてほしい。

自分で判断し、行動する為の情報を何を使って、どの様に集めるかという知識・技術は、これから社会では大変重要な力となるからである。

(社会学部教授 いで・さかり)

主役は自分！のびのび 生き生き、張り切ろう

三石 康子

必要な知識を習得したかどうかを見極めるのが、主なねらいの、高校までのテストに慣れていくと、大学で課されるレポートや、レポート的な記述式試験に、戸惑うのではないでしょか。大学は、最終の教育機関であり、学問研究を専門に

する所です。ここまで学問の道をひたすら歩んできた皆さんは、最早、知識という人類の文化遺産をただ引き継ぐだけでなく、恐れ多くもその遺産に何か付け加えることを求められます。即ち、最先端の知識を習得し、それを基盤にどのような「新発見」を導くことができたか、その成果を問うのが、大学のレポートです。小中高では、余りに漠大な知識を消化するのに忙しく、受け身の学習になりがちだったのですが、本来「学ぶ」という行為の中軸となるはずの、一人一人の主体的な、自由な思考や行動が、大学では最も要求され、評価されます。勿論、「新発見」といっても、相対性原理のような貢献が容易にできるわけではありません。レポートを書く場合も、必ずしも結論をつける必要はなく、自分なりにこうまとめたとか、自分はこう感じたというような、書き手の姿勢や感想がみられるのであれば、それでよいと思います。書き手が知識（調べたこと）に関わっていれば、そのレポートは、少なくともその書き手が居て初めて産み出された、世界に唯一の研究ということになり、人類の文化に加えられた「新発見」といえるでしょう。

二十一世紀を真近にした人類の歩みを進めるのは、自分しかないという自負を持って、ささやかなりとも大学での学問の証しを残すために、時間と努力を注ぎ込んで、レポートに取り組みたいと思いませんか。

(短期大学助教授 みついし・ようこ)



H.O

おじさんだって“ゲロゲロ”

福井 吉孝

「論文忌避症候群」と「〆切恐怖症候群」の合併症に、ここ数年心身共にさいなまされている私に、図書館から依頼が入りました。日頃より色々と親切にして戴いている手前、いかにも快諾したかのように「わっかりました!!」なんて答えてしましました。でも内心は“ゲロゲロ”です。真底ゲロゲロなんです。

私は“若手”教員の一人ですが本当は純正なオジンです。ですから、ゲロゲロなんて急に出てきた今風の若い言葉は使えません。ついて行けないんです。でもまあいいでしょう。ゲロゲロなんて語はそのうち消し飛んでしまうでしょうから。

本当に困るのは“どんどん書ける”の方です。これは死んでも無縁です。人に教えられるわけがありませんし、他人にそう易々とドンドン族になられちゃ困るんです。落ちこむ一方です。

ところで、課題、期限が定められていて、どうしても書かなければならないことがあるでしょう。(今の私がそうです) “ゲロゲロ”で許して貰えるわけがありません。どうしますか?

コンピュータに限らず、あらゆる物の進歩は超早いです。そのうち図書館に題とページ数を入力するだけで要望通りの論文類を書いてくれる「ろんぶんくん」が入るそうです(?)もうすぐの筈です(?) (だって図書館と言えども客の来るのを黙って待っていれば良いという時代じゃなくなってきたているんです。仕事(需要)の掘り起こしをしなければならないらしいですから……)

その時に優先使用権を得るには、日頃から顔を売っておかなければいけません。足を運んでおかなくては……(随分古い考えだなあ)。

取り敢えず今の所は、コピーや新聞を読みに行くだけでなく、存在を示しておく必要があります。もしかすると諸君が気付かなかったが、余禄として、本当に欲しいものに遭遇できるかもしれません。

以上です。“ゲロゲロ”

(工学部助教授 ふくい・よしたか)

読み、書く喜び

佐藤 晴夫

今日の学生は、卒論・レポートと聞くと、ヤダー・ゲロゲロという不快な反応をするらしいが、書ける、書ける、どんどん書けるようになる妙案がないものだろうかということだが、そういう妙案があるのなら私にも教えて頂きたいものだ。

学生諸君が、書けない、書けない、さっぱり書けないようになったのは、現代文化のお蔭。小さい時から文字が映ってこないテレビで育ち、劇画という文字のない紙芝居の世界に浸る。すこしだ大きくなるとファミコンで遊ぶ。学校でも、ものを書くことは余り教えてくれない。試験は専ら〇×式。個人間の情報交換は電話に頼り、ハガキや手紙には無縁。映像と音声による情報しか大脳に入ってるから、書けないのは当然。

それでは、書ける、どんどん書けるようになるためにはどうしたらよいのだろうか。我々の思考の方法は、見る、聞く、読む、書くの順序で発達する。見る、聞くは訓練を必要としないが、読む、書くは訓練を必要とする。ところが、今日の諸君はその訓練不足なのだから、あらためて、読む、書くの習慣をつけることが大切。そして情報を収集し、分類し、整理し、整然と表現する方法を身につけること。

平凡なことだが、図書館に行って、例えば、板坂元「続考える技術・書く技術」(講談社現代新書 白 816 : I G, 工学部 A 081 : K)を借りたり、心理学を受講して、思考の原則を勉強してみること。そして何でもよいかから書いてみると。私にはこれくらいしか妙案を思いつかない。

情報過剰社会の中で受身になってあぶあぶし、コトバによる自己表現の力を失いかけている我々は、我々の先祖が書く喜びを見出した時の昂ふんをもう一度味わって見ようではないか。

(工学部教授 さとう・はるお)

★工学部分館にファックスが設置されました★

[電話] 0492 (31) 0597

レファレンス・ケーススタディ (6)

コツコツ調べるためのコツ(3)

引用文や引用資料を調べている場合は、その掲載資料そのものを見せて下さい。

「この資料を探しているのですが……」といつて、メモやカードに書き写したものを持って相談に来られることがあります。書き写す過程でいろいろな記号（たとえば「、『、（、ピリオド、カンマ、ゴシック文字、イタリック文字など）を誤って写したり、活字の種類の区別がわからなくなったりします。

記号や活字にはそれぞれ「意味」が込められていて、わたしたちは、その「意味」を解読し、調査の手懸りにするのです。たとえば〔注〕の文献は、「学習研究社から1971年に出版された『講座情報社会科学』という叢書の第5巻の『情報社会科学への道』（北川敏男ほか著）の中の吉田民人の書いた「社会科学における情報論的視座」と

いうタイトルの論文”という意味です。

したがって、カード目録などを引くときの第1の手懸りは『講座情報社会科学』ということになります。

もちろん、記号の意味は本によって違いますから、その本の凡例や全体での使い方、前後関係で判断するより方法はありません。そんなわけで、抜き書きしたものよりも、出来るだけ皆さん見た資料そのもの、またはコピーを見せていただきたいのです。

〔注〕 吉田民人「社会科学における情報論的視座」北川敏男ほか『情報社会科学への道』（講座情報社会科学5）学習研究社、1971.

これであなたも「A」!? ——論文・レポートの書き方の本——

〔原稿用紙の使い方〕

1. 原稿作法 奥山益郎著 東京堂 昭和46 (白. 815. 9 : OM)

2. 原稿用紙の知識と使い方 松尾靖秋著 南雲堂 1983 (白・朝. 021 : MY)

〔文章の書き方〕

1. 文章の構成・表現 信光社編 教育出版 昭和50 覆刻文化庁国語シリーズ, 10 (白. 810. 8 : F)

2. 段落の本；段落の切り方、まとめ方、つなぎ方 大類雅敏著 栄光出版 1980 (白. 815. 9 : OM-2)

3. 間違いだらけの文章作法 市毛勝雄著 明治図書 1986 教育新書, 25 (白. 816 : I K)

4. 書く技術；悪文から素直な文章へのマニュアル 一ノ坪俊一著 日本経済新聞社 1985 (白・朝. 816 : I S)

〔論文・レポートの書き方〕

1. レポート・小論文・卒論の書き方 保坂弘司著 講談社 昭和61 講談社学術文庫

297 (白・朝. GB : 297)

2. 分かり易い論文の書き方；教育工学の立場から 末武国弘著 日本音響学会誌 42巻1号 1986. 1. (工学部. P 524 : N)
3. 論文・レポートの書き方 渡辺昇一他著 大修館 1987 スタンダード英語講座, 8 (工学部. 830. 8 : S : 1-8)

4. リポート・卒業論文を効果的に書くには 萩久保泰幸著 学燈社 国文学解釈と教材の研究 31巻14号 1986. 11. (白. Z 910. 5 : K-4, 朝. Z 910 : K-3)

5. 化学のレポートと論文の書き方 足立吟也他著 化学同人 1986 (工学部. 430. 7 : K-3)

〔製本の本〕

1. あなた自身の本づくり 小宮忠彦著 創林社 1983 (白. 022 : K T)
2. 趣味の本づくり 倉田文夫著 主婦と生活社 昭和57 (白. 022. 6 : K F, 朝. 022. 8 : K F)

3. 手製本を楽しむ 栄折久美子著 大月書店 1985 (白. 022. 6 : TK : 3, 朝. 022. 57 : TK)

※ () 内は所蔵館と請求記号を示す。

図書館 あ・ら・かると

★1988年度の統計から★

図書館の現況の一端を数字でご紹介します。

表1 館外貸出総冊数 77,692冊

白 山 39,495 (40,272)	朝 霞 19,565 (15,335)	工学部 18,632 (17,626)
------------------------	------------------------	------------------------

() 内は昨年度

表2 藏書冊数 (89.3.31現在)

	和 書	洋 書	合 計
白 山	358,538	162,645	521,183
朝 霞	95,856	11,452	107,308
工 学 部	71,373	43,962	115,335
計	525,767	218,059	743,826

表3 88年度増加図書冊数

	和 書	洋 書	合 計
白 山	10,269	5,599	15,868
朝 霞	11,252	2,159	13,411
工 学 部	4,283	848	5,131
計	25,804	8,606	34,410

表4 所蔵雑誌(含新聞) 総タイトル数 10,920 t

白 山 7,713	朝 霞 1,170	工学部 2,037
-----------	-----------	-----------

表5 視聴覚資料所蔵点数

<白山>

音 声 テ ー プ	ビデオ テ ー プ	レコード	C D	スライド	フィルム
5,541	545	4,317	116	203	56

<朝霞>

1,605	398	1,277	790	12	37
-------	-----	-------	-----	----	----

その他, VHD 100, LD 47

<工学部>

語学テープと企業の技術紹介を中心としたビデオテープを収集中です。

★坂崎文庫目録が完成★

本学元教授故坂崎侃先生の旧蔵書の目録が完成しました。本文庫は哲学書を中心に約6,100冊の資料(含雑誌)が収められています。

★新工学部分館長紹介★

今年4月から、工学部分館長に森川滝太郎工学部教授が就任しました。

(略歴) 静岡県静岡市出身、昭和11年12月生。昭和38年3月東京大学工学部卒、43年3月工学博士。同年4月通産省電子技術総合研究所入所、61年5月東洋大学工学部教授に就任。専攻は電子工学、趣味は視聴覚作品鑑賞、テニス。

★夏休み貸出案内★

白山図書館

期間: 7月7日(金)~9月7日(木)

冊数: 5冊

範囲: 新聞・雑誌・参考図書・貴重書等は除く

A V資料貸出受付期間: 7月7日(金)~24日(月)

点数: 5点(図書以外に)

範囲: 録音テープ・レコード・C D・ビデオ(禁帶出を除く)

A V室閉室期間: 7月25日(火)~9月16日(土)

朝霞分館

期間: 7月10日(月)~9月4日(月)

冊数: 5冊

範囲: 新聞・雑誌・参考図書・貴重書等は除く

A V資料貸出受付期間: 7月17日(月)~24日(月)

点数: 2点(図書以外に)

範囲: カセットテープ(音楽テープを除く), 語学のC D・ビデオテープ

A V室閉室期間: 7月25日(火)~9月16日(土)

工学部分館

期間: 7月21日(金)~8月31日(木)

冊数: 図書・10冊, 語学テープ・3点

雑誌・5冊(2週間)

範囲: 新聞・参考図書は除く

返却期限、開館日等の詳細は各館の「利用のしおり」を御覧下さい。